

HOTEI The LIVE 2023 GUITARHYTHMVII TOUR in アクリエ姫路 レビュー

開演時間の17時をほんの少し回った時、AI Rising が鳴り響きます。徐々にステージに現れるメンバーのシルエットに大声援で迎えるオーディエンス。そしてAI Rising 中盤ついに布袋寅泰のシルエットが！会場のボルテージは最高長に達します。沸き起こる HOTEI コールと共に AI Rising が終了。黒の半透明の緞帳が上がり、一気にステージが光り輝きます。一曲目はなんと Highway star から。まさかの始まりにまさに最初っからクライマックスです。続いてはアルバム通り Midnight sun、Isolation、そしてここで Domino。やはりアイナ・ジ・エンドさん抜きの Andromeda はきついかと思いきや Domino 終了後に Andromeda。なぜ順番入れ替えた??と思いつつもアイナさんの音声と歌唱映像を流しつつの演奏。どうやらMV収録時にライブ用の映像も収録していたようです。ここで「VII」は一度終了。デロリアンに乗るが如く GUITARHYTHM のタイムトラベルの始まりです。まずは「VI」から。Middle The end、MAN WITH A MISSION さんとのコラボ、Give it to the universe、2月のBC ONLYでも演奏された202Xの3曲を演奏し、時代は「II」に飛びます。エレキギター1本のみ珠玉のインスト GUITAR LOVES YOU、高層ビルから飛び降りた刹那を描いたスリリングな名曲 Slow motion と続き、ここで布袋さんは一旦ステージを降ります。同じく「II」からロックインストの METROPOLIS を黒田晃年さん中心で披露。黒田さん達バンドメンバーが演奏している間の布袋さんの衣装チェンジは定番になりつつあります。そして後半戦の始まりは「III」から。さよならアンディ・ウォーホル、Up side down、公言通りの Diving with my car はオーディエンスの大合唱でした。「I」の Glorious days、「II」に戻って Merry-go-round、ここで GUITARHYTHM のタイムトラベルは終了。再び「VII」に戻り Horizon、本編最後、曲前のMCでサビの歌詞を語った Eternal symphony で幕。会場が揺れるほどの HOTEI コールを迎え、始まったアンコール。1曲目は Mystic7。本編に出て来なかったのが演奏されないのでは??と不安になっていましたがきっちり演奏され胸をなでおろしていたところ、今回初めて参戦した布袋ファンは特に狂喜乱舞した事が想像に難くないバンビーナ、No.New Yoke で最後に向かいます。大ラスは曲前のMCで歌詞通り「王のように」そして歌詞にはありませんが「王女のように」と付け加えられた、Break the chain で終了。

時間にして2時間15分ほど。決して飽きる事のない、始まりから一気に終了した印象でした。

セットリストに不満を言うのは無粋ですが、あえて我儘をいうとすれば願わくは「IV」と「V」からも1曲ずつでも演奏してほしいという事ぐらい。逆に言えばそれぐらいしか言う事がないぐらい素晴らしい、まさに宇宙一の Rock 'n' roll show の名に恥じないライブでした。

ちなみに姫路での公演は初だったとの事。会場は何を基準に選ばれているのでしょうか??